

科目ナンバリングコード	Cmi2604101	授業科目名	メディア表現概論1 (マイナークラス)		
担当教員名	吉川 昌孝、共通教育開講責任者				
履修可能開始学年	2年	単位数	1.0単位	授業区分	週間授業
開講年度	2025年度	開講学期	2025年度1Q	開講曜日・講時	金曜2限
主要授業科目	○	クォーター開講科目		セメスター開講科目	

科目分類	マイナー科目	抽選科目		教室	
授業形態種別	講義	授業実施形態	遠隔授業：オンデマンド型(配当されている時間割の時間帯以外にも受講が可能)		
関連するDP(カリキュラム年度2017-2020)					
関連するDP(カリキュラム年度2021-)	DP-1 知識と理解	DP-2 創造的思考と考察	DP-3 技術と表現	DP-4 他者理解と協働	DP-5 社会への関心と行動
関連の有無	●				

科目ナンバリングの説明ページへのリンク	https://www.kyoto-seika.ac.jp/campuslife/class/numbering.html	ディプロマポリシー(DP)の説明ページへのリンク	https://www.kyoto-seika.ac.jp/campuslife/class/matrix.html
---------------------	---	--------------------------	---

サブタイトル	よりよいメディア表現のため、私たちを取り巻くメディア環境から、今のメディアの特徴を理解する
授業の目的・到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・「メディア」という概念についての基礎知識を身につける ・表現におけるメディアの重要性について理解する ・社会におけるメディアの活用法に目を向け、そこに自分がどのように関わるかを意識できる
授業の概要	<p>メディアとは何でしょうか？よりよいメディア表現を実現するためには、まずメディアとはどんなものか、どんな機能をもっているのか、また日常生活のどんなところに存在し、それによって私たちはどんな影響を受けているのか、について理解する必要があります。</p> <p>しかし、メディアはあまりに当たり前のものとして我々の周りに存在しており、上記のような理解を深めることが難しいものです。そのためこの授業では、我々を取り巻くメディアがどのようにして今の形で存在するようになったのか、これまでのメディアの変化潮流から、今のメディアの特徴を明らかにしていきます。</p> <p>遠隔授業ではありますが、課題やこちらからの質問を出しますので、積極的にコメントをメールなどで送ってください。授業についてのリクエストもどんどんしてください。ここがわからない、ここをもっと知りたいという要望や質問を強く募集します。</p> <p>動画や音声を通じて、みなさんとコミュニケーションをとりながらこの授業は進めます。いうなれば、この授業がみなさんと私の媒（なかだち）となる、一つのメディアなのです。ですので、この授業を一つのメディア表現として、より良いものにしてくれる積極的な姿勢を期待しています。コメントやリプを返すように、ラジオにリクエストを出すように、気軽に真面目にコミュニケーションを図りながら、「メディアとは何か」について理解し、「今のメディアの特徴」を人に説明できるようにまできてください。積極的な皆さんの受講を期待しています。</p>
実務経験／実践的教育	<p>広告会社のメディア環境研究を行ってきた研究所の所長としての実務経験を有する教員がその経験を活かし担当する授業科目です。【実務経験／実践的教育】</p>
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> ●第1回 オリエンテーション（授業内容、進め方、評価の仕方）と、メディアとはなにか、コミュニケーション、マスメディアとネットメディア、送り手と受け手という基本概念について理解する （課題）あなたの好きなメディア（コンテンツ）について ●第2回 今のメディアの特徴（1） マスからパーソナルへ～情報の伝え方の変化 ネット以前（放送、印刷）とネット以後（通信）、Walkmanの登場を例に （課題）あなたの一番好きなマスメディアコンテンツ、あなたの一番のパーソナルメディアは？ ●第3回 今のメディアの特徴（2） たくさんから1台へ～情報の載る器の変化 モノ（有形）からサービス（無形）へ、アナログからデジタルへ、iPhoneの登場を例に （課題）スマホの新サービスアイデア ●第4回 今のメディアの特徴（3） プロからみんなへ～コンテンツ（中身）制作の変化 受け手も送り手になって情報爆発、YouTubeの登場を例に （課題）フェイクニュースについて ●第5回 今のメディアの特徴（4） 時間から秒へ～フォーマットの変化

長尺（映画）から短尺（動画）へ TikTokの登場を例に
（課題）フォーマットを選んで授業動画を作成
●第6回 今のメディアの特徴（5） あこがれから推しへ～スター／アーティストの変化
所有から接触へ ファンからオタクへ AKB48を例に
（課題）あなたの推しについて
●第7回 今のメディアの特徴（6） 広告販売からサブスクリプションへ～儲け方の変化
広告枠販売・部数獲得から定額制へ Netflix、Spotifyを例に
（課題）あなたのベスト定額制サービスは？
●第8回 まとめ 特徴（1）～（6）の振り返り
（課題）授業を通じて学んだことについてのレポート

授業外学習の指示（予習・復習・課題等）

単位制度の趣旨に則り、次に示す授業外学習(自学自習)時間が必要です。【1単位につき週あたりに必要な自学自習時間】クォーター科目：講義・演習 4.5時間、外国語・実習 2.5時間／セメスター科目：講義・演習 2.25時間、外国語・実習 週1.25時間 ※2単位科目の場合は上記を二倍、3単位科目は三倍してください。また、演習科目はカリキュラム年度によって授業時間と自学自習時間の配分が異なりますので、シラバスや科目担当者の授業内での指示に従ってください。この科目では授業外学習として、以下の内容に取り組んでください。

- 予習…シラバスに基づき、関連するキーワード、作品について、書籍、インターネットなどで授業前に調べておくこと（2.5時間）
- 復習…授業中に紹介した課題作成のために資料作りを行う。（2時間）

評価方法・評価基準

課題65%
講義に対する質問など10%
授業の中で提出課題が紹介されたこと25%

履修条件・留意点及び受講生に対する要望

- ・第1回目にオリエンテーションをするので、必ず出席すること
- ・動画を見て課題に応えることを必須とする

購入必須テキスト

特になし

参考文献・作品等

授業内で紹介する

参考WEBサイト（サイト名・URL）

授業内で紹介する